

米中覇権争いの政治経済学

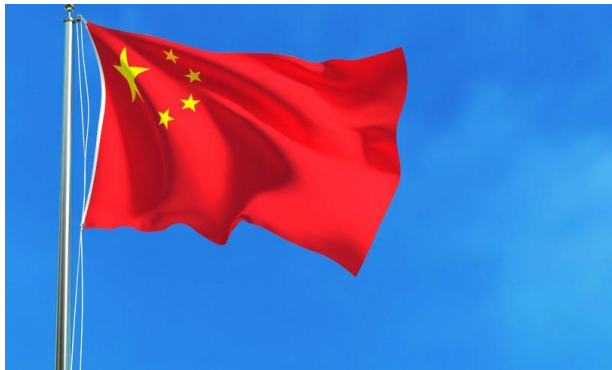
2019年3月27日（水）

柯 隆



東京財団政策研究所
THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH

1. 中国の「強国夢」



中国製造2025



「一帶一路」



東京財団政策研究所
THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH

2. 米国からみたグローバルリスク

2019年	2018年	2017
悪性の種	中国リスク	アメリカリスク
米中関係	アクシデント	中国過剰反応のリスク
サイバー戦争	テクノロジー冷戦	弱体化のメルケル
欧州のポピュリズム	メキシコ	改革しないリスク
米国の内政不安	米イラン関係	テクノロジーと中東
イノベーションリスク	政府機関の衰退	中央銀行と政治
非有志連合	保護主義2.0	ホワイトハウスとシリコンバレー
メキシコ	イギリスリスク	トルコの独裁化
ウクライナ	南アジアアイデンティティ政治	北朝鮮
ナイジェリア	アフリカの安全保障	南アフリカリスク

3. 戦後秩序、衰退から終焉へ

The end of history and last man, Fukuyama, Francis, 1992, Free Press

(国際社会において民主主義と自由経済が最終的に勝利し、社会制度の発展が終結し、社会の平和と自由と安定を無期限に維持する。民主政治が政治体制の最終携帯であり、歴史の終わりである)

The Clash of Civilizations and the Remaking of World Order, ミュエル・ハンティントン, 1996,

(支配的な文明は人類の政治の形態を決定するが、持続はしないため、歴史は終わらない)

How a World Order Ends and What Comes in its Wake, Richard Haass

(戦後秩序は衰退から終焉へ、秩序の劣化をきちんと管理しないとイケない)

注: Richard Haassは米国外交問題評議会会長

4. 主要国GDPのランキング

	2017年	2016年	2015年
アメリカ	19,485.40	18,707.15	18,219.30
中国	12,041.61	11,221.84	11,226.19
日本	4,873.20	4,950.07	4,394.98
ドイツ	3,700.61	3,496.61	3,383.09
イギリス	2,628.41	2,669.11	2,897.06
インド	2,602.31	2,466.15	2,439.44
フランス	2,587.68	2,273.56	2,102.39
ブラジル	2,055.14	1,860.15	1,833.79
イタリア	1,938.68	1,793.31	1,800.02
カナダ	1,653.04	1,535.77	1,559.62

5. チャイナリスク

- ①景気減速：V字型回復ではなく、L型の可能性
- ②信用危機：タキトウスの罠
- ③ガバナンスの欠如：幹部腐敗の深刻化
- ④債務問題と国家財政のサステナビリティ
- ⑤社会保障制度の未整備
- ⑥格差の拡大と社会不安
- ⑦不動産バブル崩壊の危険性

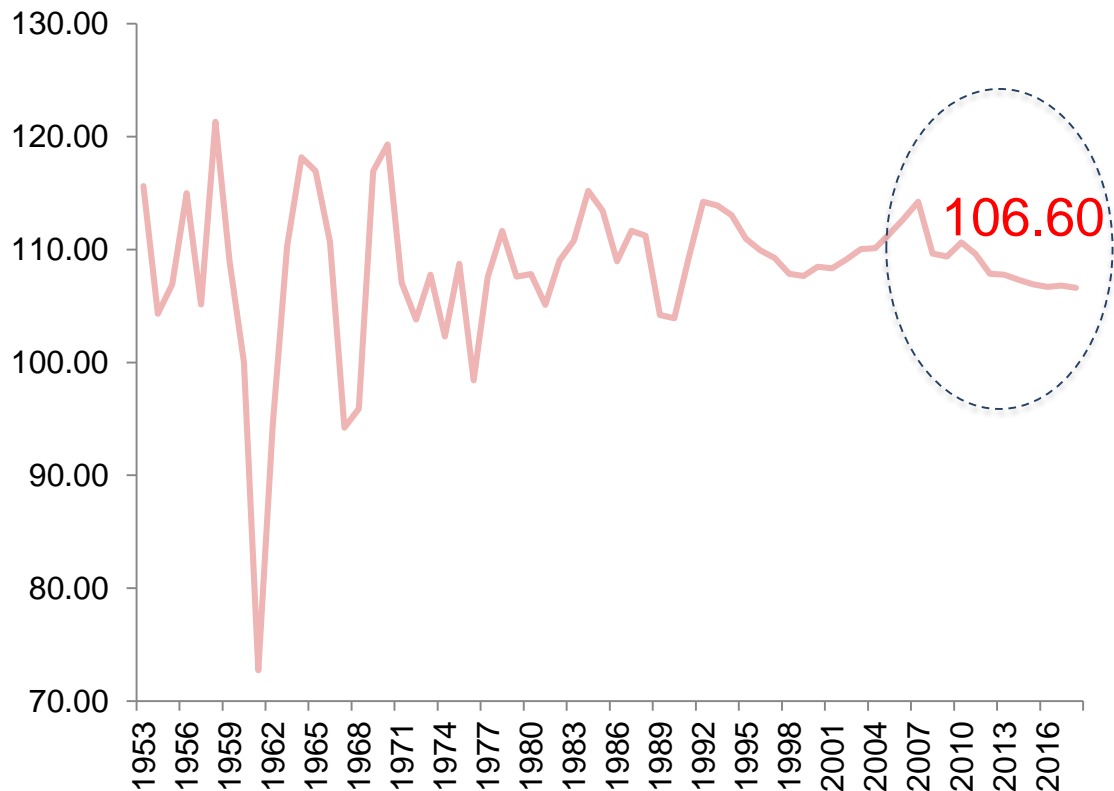
6. 中国の腐敗認識指数（2018）

	腐敗認識指数 (ポイント)	政治腐敗抑制度
シンガポール(3)	85.00	シンガポール(6)
香港(14)	76.00	香港(17)
日本(18)	73.00	日本(21)
アメリカ(22)	71.00	アメリカ(24)
台湾(31)	63.00	台湾(40)
韓国(45)	57.00	韓国(68)
中国(87)	39.00	中国(112)

7. 中国の幸福度

	中国大陸	台湾	日本
2018年	86位	26位	54位
2017年	79位	33位	51位
2016年	83位	35位	53位
2015年	84位	38位	46位
2013年	93位	42位	43位
2012年	112位	46位	44位

8. 減速する経済成長率（前年＝100）

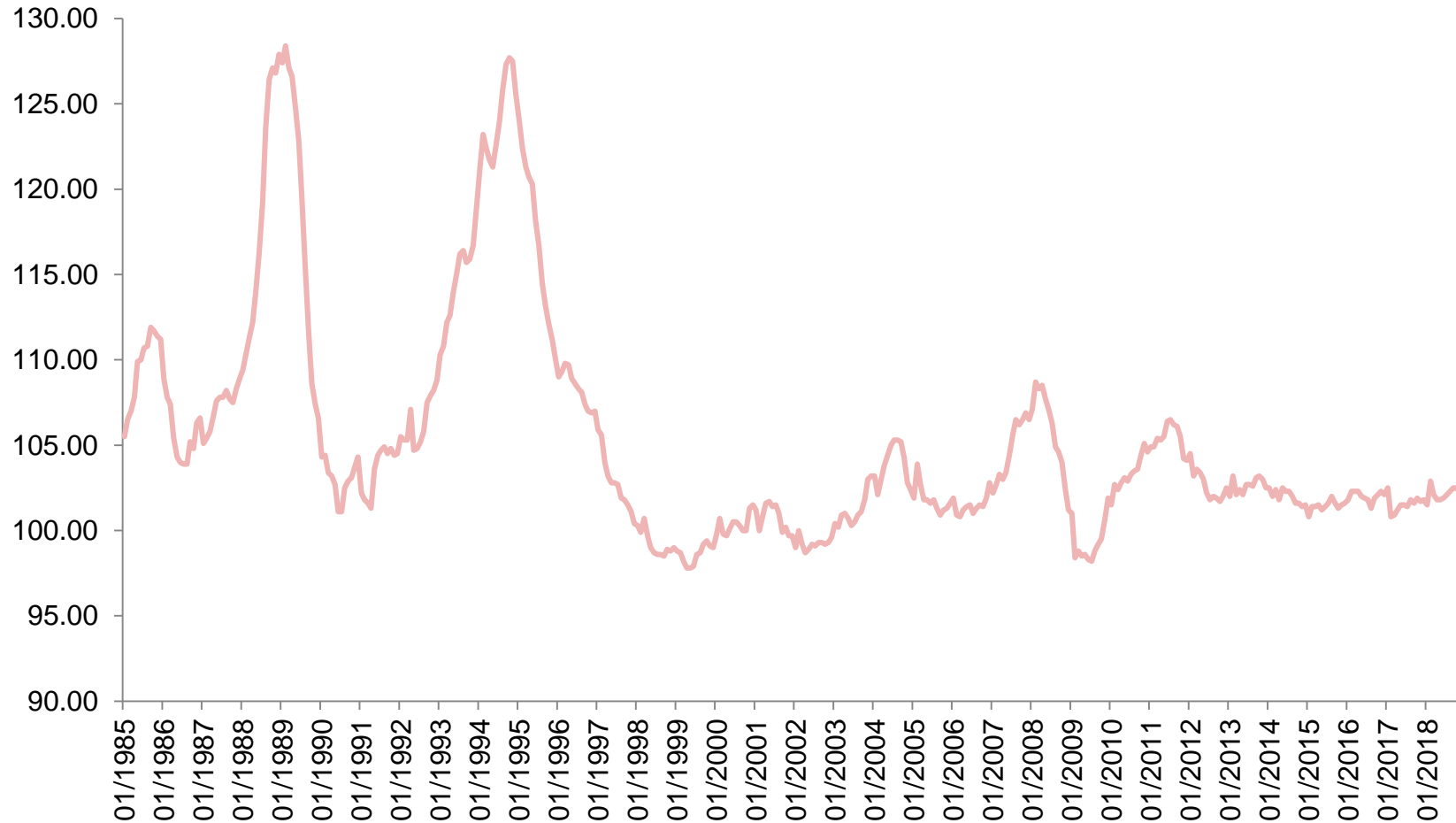


- ・リーマンショック以降、景気が緩やかに減速
- ・新常态となった景気減速
- ・土地財政と不動産開発ブーム
- ・比較優位戦略の終焉
- ・金融緩和の限界性
- ・急がれる構造転換
- ・量的拡大から質的向上へ

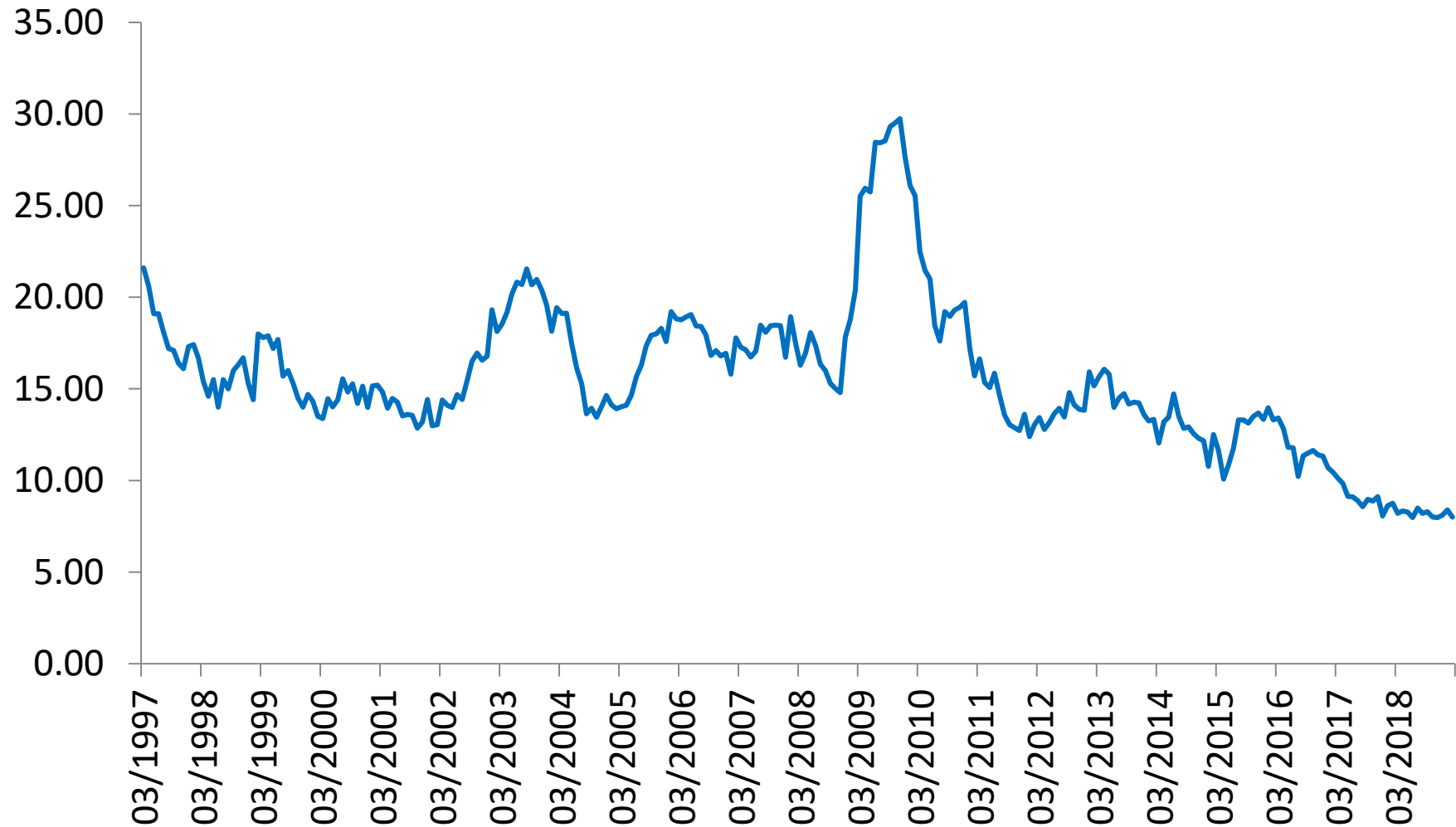
9. 景気減速の顕在化（製造業PMI）



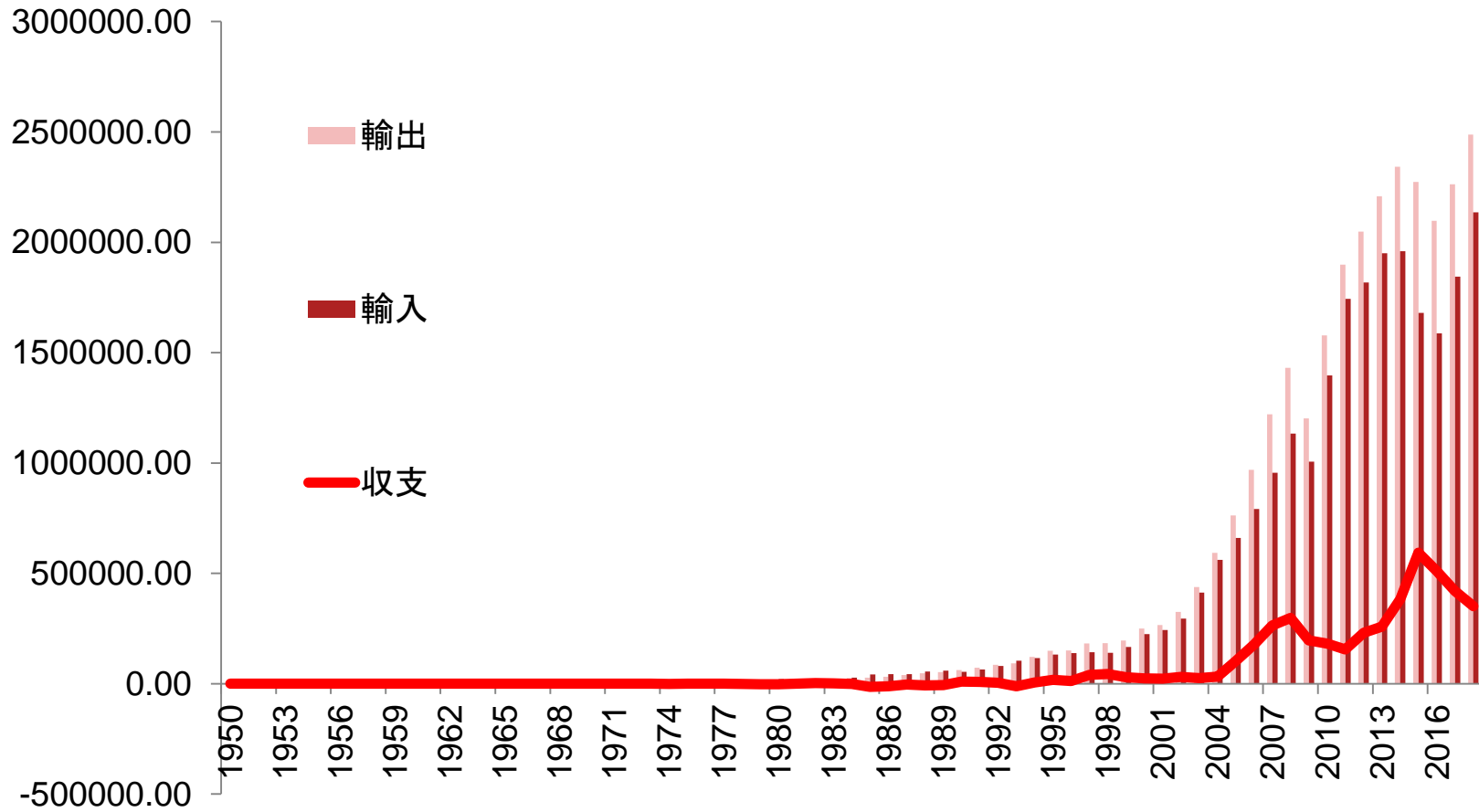
10. 消費者物価指数 (前年=100)



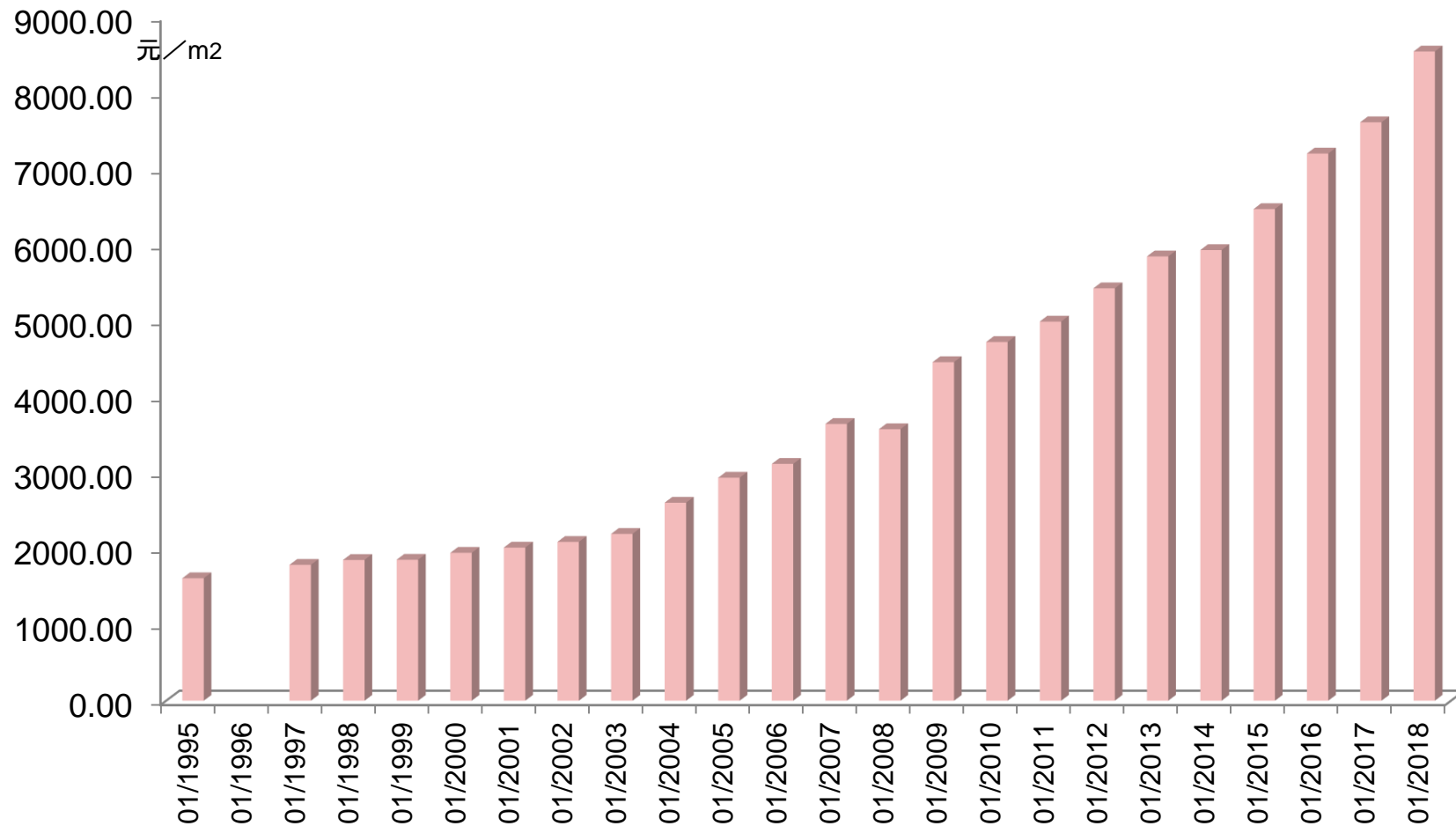
1 1. マネーサプライ (M2伸び率)



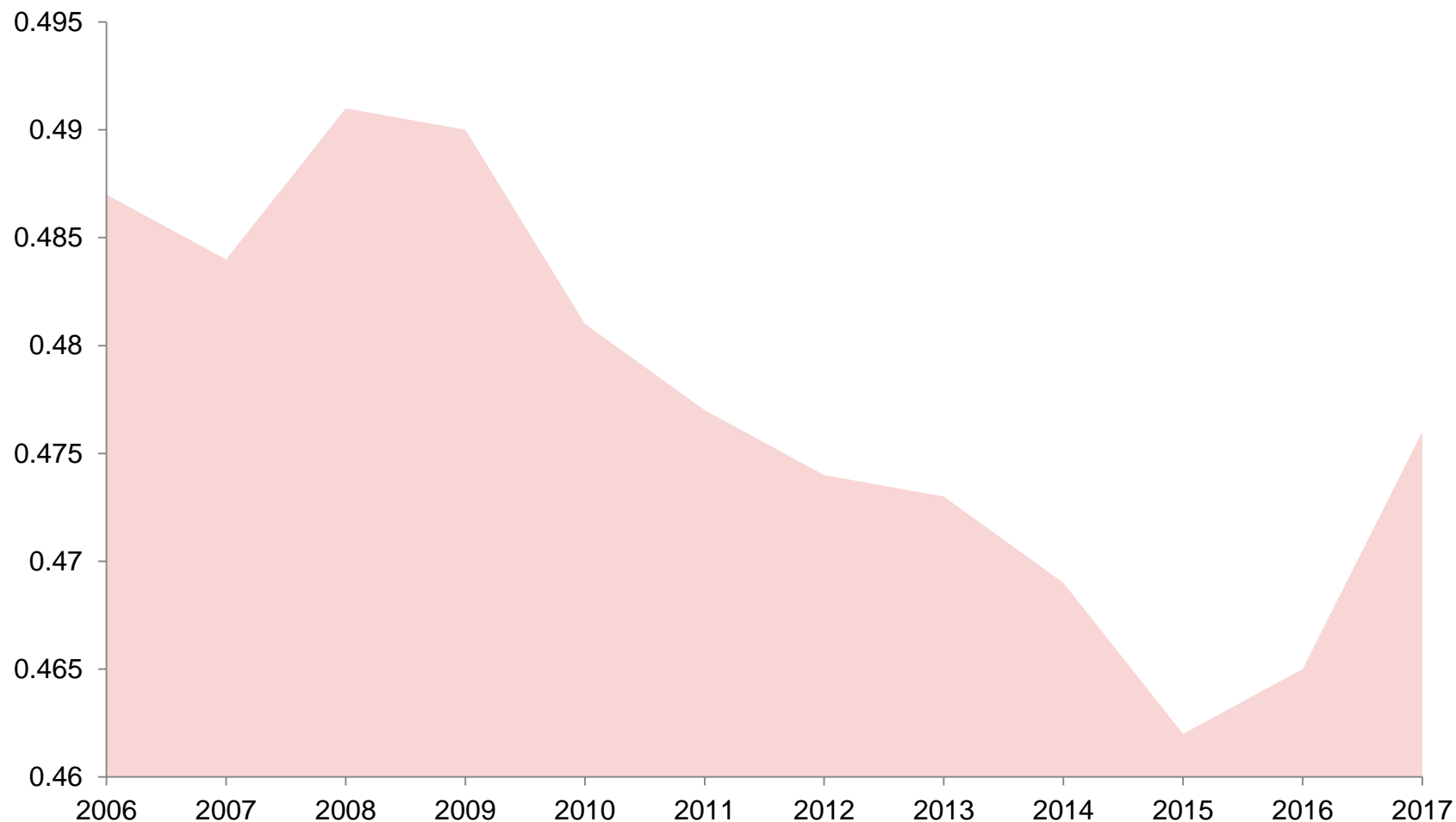
1 2. 輸出入と貿易収支



1 3. 住宅販売価格



14. 格差の拡大（ジニ係数）



15. 貿易戦争の被害産業

- 情報通信産業：貿易戦争の最大の被害者として、アメリカ以外でも、北米、EU、オーストラリア、日本などの先進国市場を失う可能性が高い
- 電気機械産業：米国からの輸入は米国の制裁関税措置を受けられないが、対米輸出は制裁関税により、日本、ドイツと韓国の同業者との競争で価格競争力を失う可能性がある
- 航空宇宙産業：知財権保護による影響
- 鉄鋼産業：中国対米直接輸出は全体の1.6%だが、第三国経由の鉄鋼製品は制裁関税に影響される
- タイヤゴム産業：米国は最大輸出相手国
- アパレル：米国は最大の輸出相手国

16. 米中貿易の主要製品・商品

米国→中国	米国からの輸入の割合(%)	中国→米国	米国への輸出の割合(%)
電気および電気部品など	11.3	電気および電気部品など	24.9
原発および関連部品	10.7	原発および関連部品	21.3
自動車および鉄道車両	9.8	家具用品	6.8
植物、菜種、油糧種子など	9.5	玩具、ゲーム、スポーツ用品	4.3
航空機および部品	9.2	アパレル製品	3.7
医療機器	7.6	プラスチックおよび用品	3.6
鉱物製品	4.7	自動車および鉄道車両	3.5
プラスチック製品	4.5	アパレル製品	3.3

17. 中国対米知財権使用料と米国貿易赤字

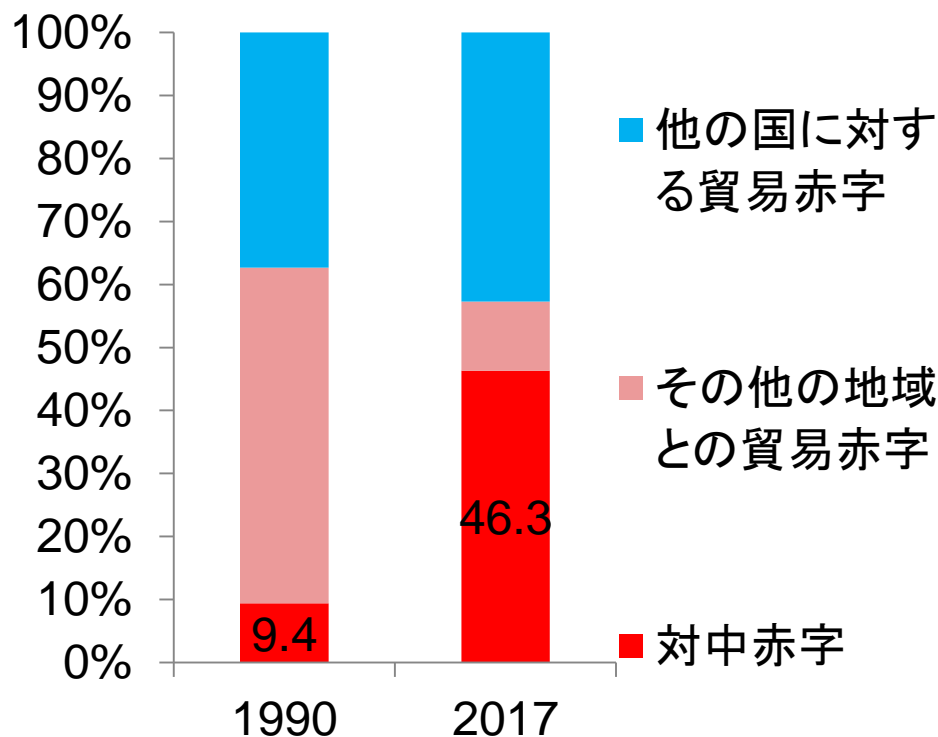
中国の対米知財権使用料の支払い

	米国企業知財権使用料
2011	34.6
2012	38.3
2013	50.6
2014	53.4
2015	52.6
2016	62.6
2017	70.2

注: 億ドル

資料: 中国国務院、商務部

アメリカの貿易赤字



資料: UN COMTRADEdatabase, Bureau of Economic Analysis, USDOC

1 8. 世界主要国地域の関税水準

	すべての商品	食品、農産物	その他の商品
日本	2.1	11.1	1.2
米国	2.4	3.8	2.3
EU	3.0	7.8	2.6
オーストラリア	4.0	2.4	4.1
中国	4.4	9.7	4.0
韓国	6.9	55.4	4.0
インドネシア	6.8	7.8	6.7
インド	7.6	38.0	5.6

19. 拒否権発動された中国企業の米国企業買収

	Buyer	Target	Sector
1990	China National Aero-Technology Import and Export Corporation (CATIC)	MAMCO (Manufacturer of Aircraft Parts)	Manufacturing
2012	Ralls, Affiliate of Sany Group	Wind Farm in Oregon	Energy
2016	Fujian Grand Chip	Aixtron (American Subsidiary of a German Chip Maker)	Semiconductor
2017	Canyon Bridge	Lattice Semiconductor Corporation from Oregon	Semiconductor

20. CFIUSに取り消された買収案件

	Buyer	Target	Setor
2005	CNOOC	Unocal	Energy
2008	Huawei/Bain	3Com	Communications
2009	Northwest Non-Ferrous International Investment Company Ltd	Firstgold Corp.	Energy
2010	Tangshan Caofeidian Investment Corporation	Emcore	Communications
2010	Anshan Iron and Steel Group	Steel Development Company	Manufacturing
2010	Huawei	3Leaf	Communications
2016	GSR Ventures	Royal Philips' Lumileds (US operations included)	Manufacturing
2017	TCL	MIFI of Novatel Wireless	Communications

2 1 . 続 き

	Buyer	Target	Sector
2017	NavInfo, Tencent and GIC	Dutch mapping data provider HERE (US operations included)	Mapping
2017	HNA Group	Global Eagle Entertainment	Entertainment
2017	Zhongwang International Group	Aleris	Manufacturing
2018	Ant Financial	MoneyGram	Finance
2018	Da BeiNong Group	Waldo Genetics	Agriculture
2018	BlueFocus Group	Cogint	Internet
2018	China Heavy Duty Truck Group	UQM	Manufacturing
2018	HNA Group	Skybridge Capital	Finance

2 2. 予想される貿易戦争の影響

	貿易戦争の影響
WTO	If tariffs return to the pre-GATT/WTO level, the global economy would contract by 2.5 percent instantly and more than 60 percent of global trade would disappear.
IMF	An increase in tariffs would slow down global growth by about 0.5 percentage point.
Barclays Capital	Global growth rate would drop by 0.6 percentage point and the global inflation rate would increase by 0.7 percentage point.
Standard & Poor's	Global growth rate may possibly decline by 1 percentage point.
Bank of England	An increase in tariffs of 10 percent between the US and all its trading partners would take 2.5 percent off US output and 1 percent off global output.
Bank of France	If a country levies a 10 percent extra tariff on imports, the exports of its trading partners would drop by 13 percent to 25 percent.

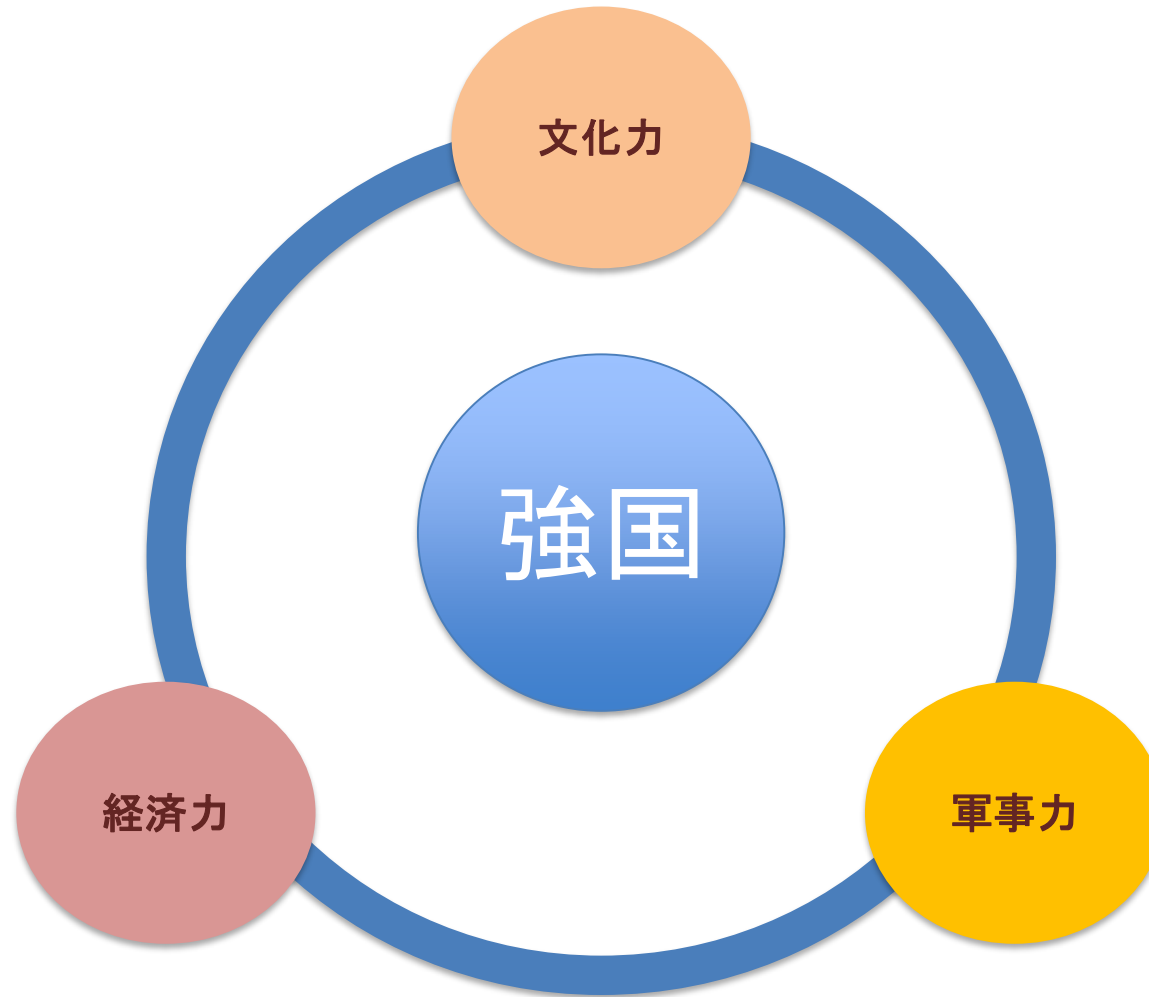
23. 米中貿易戦争の展望

- 貿易交渉が難航する可能性
- 米国商品を買増しするが、解決策にならない
- 中国政府は知財権保護を約束しても、査察団を受け入れない
- トランプの支持率低下を期待する北京は時間稼ぎの戦術
- 貿易戦争が下火になっても米中対立は長期化

24. 国際社会のPower Balance

- アメリカの核心的利益: 自由・民主主義 vs. America First
 - 中国の台頭: 中華民族の偉大なる復興
 - 中国の核心的利益: 台湾、南シナ海、東シナ海
 - G2 → 米中対立 → 覇権争い
 - G7: 同床異夢
 - EU: 結末の後退
- 秩序なき国際社会の危機

25. 強国になる条件



26. 日中関係の展望

- 2018年は米中の年
- 2019年は日中の年
- 貿易戦争により、グローバルサプライチェーンとバリューチェーンが再形成される
- 中国は世界の工場から世界の市場へ
- 理に訴える日本人、情に訴える中国
- 習近平国家主席の訪日で友好ムードに



東京財団政策研究所

THE TOKYO FOUNDATION FOR POLICY RESEARCH